

令和8年度(令和7年度実施)

岩手県立大学 総合型選抜



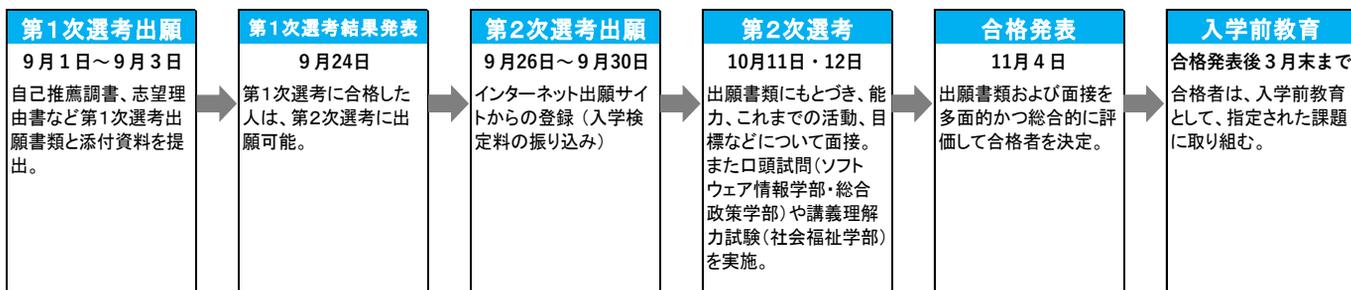
自己を磨いて、
未来を描く。

岩手県立大学総合型選抜とは

岩手県立大学での勉学を強く希望する人を対象とした自己推薦による入試です。

岩手県立大学で学ぶことにより、大きく伸びる可能性があるかどうか、提出書類と面接の評価により選考します。

社会福祉学部
ソフトウェア情報学部
総合政策学部



出願資格

次の(1)～(3)をすべてを満たす人は、本学の総合型選抜に出願できます。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校(中高一貫校)を卒業した者および令和8年3月に卒業見込みの者など、大学入学に必要な資格を有する者
- (2) 本学の社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部のいずれかの学部での勉学を強く希望し、合格した場合は入学することを確約できる者
- (3) 自分自身の能力およびこれまでのさまざまな活動について、高く自己評価できるものを持つ者

学生募集要項・出願書類の配付

「総合型選抜学生募集要項」・「出願書類」は、令和7年7月上旬までに、岩手県立大学ホームページにて発表・配付開始する予定です。ファイルをダウンロードしてご利用ください。
※ 総合型選抜の出願は、インターネット上での出願登録と出願書類の郵送提出が必要です。詳細は学生募集要項をご覧ください。

各学部からのメッセージ

■社会福祉学部

社会福祉学部では、今日の社会問題の背景や課題、地域の現状などを総合的に学び、現場実習を通じて経験を積み重ねます。特に総合型選抜で入学した学生には、講義・演習による学修と現場実習での経験を結びつけ、他の学生に率先して学びの機会を作っていく積極的な姿勢が期待されます。そのためには、自ら課題を設定し主体的・計画的に学びを進めていく自律性とコミュニケーション能力が求められます。

総合型選抜では、(1)これまで力を注いできた活動から何を学び、大学でそれをどう活かすかという考えや、(2)社会福祉を志望する動機・問題意識と、大学での学修を通して追究したい目標等を中心に評価します。ボランティア経験や特技そのものではなく、それらに対する姿勢や考え方、経験を踏まえた振り返りを明確に説明できる点も重視します。

また本選抜にあたっては、社会福祉を学ぶ上での自分の「強み」と同時に、今の自分に「足りないもの」についてもよく考えておいてほしいと思います。面接でも、単に自分をアピールするだけではなく、活動等を通して学習した点や気づきへ至った点について考察を深め、それを踏まえて、大学入学後および卒業後の目標をどのように本学部で達成できるかということを十分に説明できるようにしてください。

なお、入学後に授業内容の理解を深めていく上で基礎的な学力は不可欠です。そのため、総合型選抜に出願する方にも、大学入学共通テストの受験を強く求めています。共通テストの結果によって合格が取り消されることはありませんが、高校までの学びの集大成として受験に向け学習に努めてください。また、総合型選抜の合格者には入学前教育として学部独自の課題を課します。関心と問題意識に従って自ら計画を設定し、能動的・積極的に課題を実行してもらいます。

■ソフトウェア情報学部

ソフトウェア情報学部では、コンピュータやソフトウェア、情報に関する経験や体験に基づいた強い興味や関心を持ち、その想いを周囲にも広め活躍できる学生を求めています。

総合型選抜では、高校時代に学業（探究活動、資格取得の学習も含む）や課外活動などに情熱をもって取り組んだ経験があり、大学入学後にはその情熱をソフトウェア情報学の修得に傾けたいと強く望んでいる学生を求めています。高校時代の活動については、大会・コンテストなどへの参加、資格取得、アプリや映像作成、地域における活動なども含まれます。さまざまな活動を経て感じた情報通信技術（ICT）の利活用の価値、また、可能性を感じたICTについて、体験をもとに積極的にアピールしてください。自ら積極的に取り組んだこと、創意工夫したこと、活動を通じて得た学び、グループ活動の場合は役割と貢献したことについて評価します。

現実のソフトウェア開発は、単独で行われることは少なく、大人数で協力しながら行う場合がほとんどです。開発過程では、企画書、設計書、説明書などの多種多様な形式の文書を作成し、それらをもとにしてお互いにコミュニケーションをとりながら開発を進めます。そのため、ソフトウェア開発者には文書や会話によるコミュニケーション力が求められます。

このような背景から、ソフトウェア情報学部の総合型選抜では出願書類と面接を通じてコミュニケーション力も評価します。高校時代の活動や入学後の目標・夢などを詳しく伝えられるように出願書類や面接の準備を工夫してください。

■総合政策学部

総合型選抜では、次の視点を重視します。(1)身の回りの地域社会や環境などに積極的に目を向け、(2)「どうして?」「なぜ?」と疑問に思うことを大事にし、(3)その事象が起きた背景や原因を自らいろいろな方法で調べたり、(4)場合によってはその改善に向けた活動を試行したりするなど、主体的な一連の取り組みを行う姿勢を重視します。そして、その活動の発端になった「思い」や、活動のプロセスで直面した困難にどう対処しようとしたかなど、体験に基づいてしっかりと自己表現してもらいたいです。

このような活動体験をもって入学した総合型選抜合格者は、現実社会を見る目やそれを受け止める感性の点で、他の選抜で入学した学生たちより一歩先んじているといえます。また、活動の様々な場面で意見を出し合っって意思疎通を図ってきたはずで、活動を通して培ってきたこれらの素養は、大学生活において、ある場合にはリーダーシップを発揮したり、ある場合には、全体の意見をまとめる際の調整役を担ったりすることに活かされるはずで、ここに総合型選抜合格者への期待があります。

総合型選抜の合格発表は11月に行われますので、大学へ入学するまでに5ヶ月間の期間があります。この期間の過ごし方は大変大事です。望むことは、第一に、高校で学習すべき基礎学力をしっかりと身につけることです。そのために、大学入学共通テストの受験に備えて日々の学習に努めて下さい。総合政策学部では大学入学共通テストの受験を強く求めています。入学後、成績の提出を求めるともありますので、高校までの学習の集大成として受験し、その結果を自己の目標達成につながる原動力の一つとしてください。第二は、これまで関心をもって取り組んできたこと（活動）を、さらに展開させることも考えてほしいです。入学前の約半年間の「ゼロ年次教育」は、上述の第一および第二のことにに関して、意見表明・質疑・助言する形で進める予定です。

Q & A

よくある質問にお答えします

総合型選抜とは

岩手県立大学での勉学を強く希望する人を対象とした自己推薦入試です。岩手県立大学で学ぶことにより、大きく伸びる可能性があるかどうか、提出書類と面接の評価により選考します。

書類と面接の評価では、次の2点を重視します

- 能力およびこれまでの活動について、高く評価できるものがあるか。
- 入学後に何をどのように学びたいのかという明確な目標と強い意欲があり、その目標を実現するために十分な能力を持っているか。

次のような学生を求めています

- 自然、人間、技術、社会などに対して強い関心を持ち、自らテーマを発見し、考え、探究して、解決の方向を見出そうとする人。それを持続することのできる人。

与えられたことをこなすだけではなく、自ら進んで取り組み、工夫し、試行錯誤を繰り返しながら何かをつかみ取ることが大切です。また、大学に入って学びたいことが具体的に明らかになっていて、学んだことを生かす将来の目標をしっかりと持っていることが評価されます。

- コミュニケーション力がある人、リーダーシップを発揮できる人。または縁の下の力持ちになれる人。

総合型選抜の合格者には、意欲的な活動で周りの学生によい影響を与えてほしいと考えています。そのため、相手の考えを正確に読み取り、文章や会話で自分の考えを的確に伝える力も必要です。

Q01 総合型選抜の目的はなんですか

一般教科の試験では測れない資質、意欲、経験などを評価して、学生を選抜することです。

Q02 どのような人が出願できますか

本学での勉強を強く希望し、自分の能力やこれまでの活動について、高く自己評価できるものをもった人が出願できます。自己評価にあたっては、自分を客観的な視点で捉えてください。

Q03 岩手県外に住んでいますが、出願できますか

岩手県内・県外を問わず、高等学校や中等教育学校（中高一貫校）の卒業生・卒業見込み者であれば出願できます。

Q04 既に高校を卒業していますが、出願できますか

卒業していれば年齢に関係なく出願できます。

Q05 学校推薦型選抜とはどこが違うのですか

学校推薦型選抜が学校長の推薦を必要とするのに対して、総合型選抜はそれを必要としない、自己推薦による一般公募入試です。したがって、自己アピールと志望動機が特に重要です。また、合格後の入学前教育として、与えられた課題にも能動的に取り組んでいただきます。

Q06 学校推薦型選抜と併願できますか

総合型選抜で不合格となった人が出願することは可能です。合格した場合は併願できません。一般選抜との併願についても同様です。

Q07 総合型選抜の不合格者が他の選抜区分に出願した場合、不利になることがありますか

選抜区分毎、異なる方法により選抜を行いますので、不利になることはありません。

Q08 他大学との併願はできますか

総合型選抜では、合格した場合に入学することを確約できることが出願の条件となっています。したがって、合格した場合には、他大学と併願しても、本学に入学することが求められます。

Q09 出願（第1次選考）に必要な書類は何ですか

自己推薦調書、志望理由書、志願者評価書、調査書です。自己推薦調書には、自己評価できるものについての取り組み方・成果、学習活動、その他の活動、特に興味を抱いていることなどを記入します。志望理由書には、本学の学部・学科を志望する理由、入学後に何をどのように学びたいかなどを記入します。志願者評価書は、志願者の自己評価できるものについて把握し、客観的に評価できる人に記入を依頼してください。クラス担任、部活動の顧問、塾の先生や課外クラブのコーチなどに依頼する人が多いですが、この範囲に限られるわけではありません。ただし、親、親族、友人などは適切ではありません。

単位:人

学部	令和8年度 (令和7年度実施) 募集人員		令和7年度 (令和6年度実施) 選抜結果		
	総入学定員	総合型選抜 募集人員	出願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 合格者数
社会福祉学部	90	4	35	8	4
ソフトウェア情報学部	160	20	74	35	20
総合政策学部	100	若干名	29	6	3

Q10 評価のポイントは何ですか

第1次選考のときに提出された書類の評価と、第2次選考での面接の評価を総合して最終合格を決定します。これまでの活動とこれからの目標の両方が評価ポイントとなります。

Q11 調査書は必要ですか

必要です。高校での学習活動や基礎学力、課外活動などを把握するための資料となります。

Q12 自分のことをよく知ってもらうために、資料を送ることができますか

出願の際に、自己推薦調書を補うものとして、認められる範囲で同封することができます。詳しくは、学生募集要項を参照してください。

Q13 どのような活動が評価の対象になりますか。また、評価の対象となるのは、中学卒業以降の活動ですか

高校での部活動や課外活動、探究活動など様々な活動が評価の対象となります。基本的には、中学卒業以降の活動が評価の対象となりますが、中学卒業以前から継続して行っている活動については、提出書類(自己推薦調書)に記入できます。

Q14 評価の対象となる活動を複数アピールしてもいいのですか

構いません。ただし、アピールポイントを絞らずに多くのことを羅列するような書き方は、高い評価を得られるとは限りません。大学に入ってから取り組みたいことと関連付けるなどアピールポイントが明確になるように工夫してください。

Q15 優れた成績をおさめていなければ、評価されないのですか

成果は積極的な活動の証拠として有効ですが、成果そのものよりも、活動を通して何を考え学び、どれだけ成長したのかが重要です。

Q16 添付資料はたくさん提出した方が有利ですか

有利とは限りません。資料に概要を添付する、その資料で何をアピールしたいのかを明記するなど、自分をより良く理解してもらう努力が重要です。また、資料は認められる範囲内にまとめなくてはなりません。

Q17 自己推薦書や志望理由書は枠を埋めるように書いた方がいいですか

無理に多く書く必要はありませんが、与えられているアピールの場はできるだけ有効に活用してください。

Q18 口頭試問について教えてください

面接の中で基礎学力に関わる質問をします。質問の範囲は学部によって異なります。学生募集要項をご覧ください。

Q19 社会福祉学部の講義理解力試験について教えてください

「講義理解力試験」は講義を聴いて、講義の内容を理解し、論じる能力を測ることを目的とした試験です。実際に大学で行われるものとはほぼ同じ形式の講義(55分程度)を行い、その後、講義内容に関する論述試験(60分程度)を実施します。

講義は基本的に「社会福祉」に関連する内容を扱います。第1次選考合格者には、第2次選考の詳細なスケジュール等についてお知らせします。

Q20 どんな対策をとるべきでしょうか

総合型選抜で求める学生は、前ページの「次のような学生を求めています」にあるとおりです。自ら進んで勉強や活動に取り組む人が評価されます。しかし、合格するために、そのような勉強や活動をするというのは本末転倒です。一般教科の勉強に一所懸命取り組みつつ、自然、人間、技術、社会などに関心を持って、自分なりに課題を発見し、行動するという、主体的で積極的な高校生活を送ることが大切です。

Q21 合格後にすることはありますか

合格発表から入学まで5ヶ月間あります。この間、高校での勉強に力を入れ、大学での学修への意欲を高めてもらうために、入学前教育としてプレゼミナールへの参加、報告レポートの提出、英語や数学の課題への取り組みなどを求めます。(各学部で指定される課題もあり、内容は学部によって異なります。)

Q22 総合型選抜で合格した学生と他の学生とは、入学後のカリキュラムに違いがありますか

違いはありません。しかし、勉学や課外活動に積極的に取り組み、周りの学生により影響を与えてほしいと考えています。

募集要項のダウンロード、その他関連情報は次のURLへ

https://www.iwate-pu.ac.jp/examination/Exam_FormDL.html#4_sougou



募集要項の公開は
7月上旬を予定して
います。

お問い合わせ先

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子152-52
TEL 019-694-2014 FAX 019-694-2035
岩手県立大学 教育支援室入試グループ



地域に 未来に 多様なアーツを

岩手県立大学
Iwate Prefectural University